

## コシヒカリの適期刈取りについて

コシヒカリの出穂後の気温は平年並みで推移し、稲刈り時期は平年より2日程度早いと見込まれます。

今年は、ほ場ごとのバラツキが大きいので、必ず**籾の黄化状況を確認し、刈遅れによる胴割米を防止するため、適期刈取りの徹底と適正な乾燥調製に努めましょう。**

### 1 水管理

- (1) 刈取りの5～7日前まで間断かん水を行い、稲体の活力維持と登熟向上に努めましょう。  
フェーンが予想される場合は、予め湛水しましょう。

### 2 クサネム(雑草)の抜取り

- (1) クサネムなどの雑草種子は、調製で除去しにくく、製品に混入すると農産物検査で格落ちの要因となるので、事前に抜取りましょう。

### 3 コシヒカリの刈取時期

- (1) 籾の黄化率80%で刈取りましょう。

【刈取適期の目安】

出穂期	刈取適期
7月30日	9月6日頃
8月2日	9月9日頃
8月5日	9月13日頃

- (2) ほ場ごとに出穂期がバラついています。  
必ず籾の黄化状況を確認しましょう。  
また、水口等生育が遅い場合は、部分刈りしましょう。

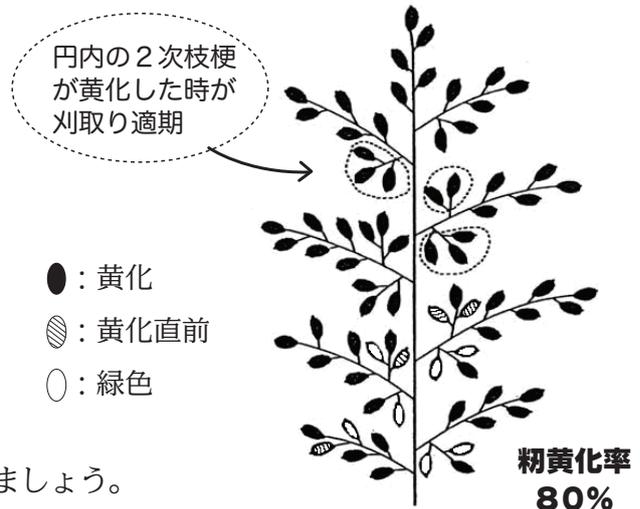
### 4 乾燥・玄米水分

- (1) 胴割米の発生を防ぐため、乾燥速度は毎時0.6%以内を基本とし、初期の籾水分が高い場合(25%以上)や低い場合(20%未満)は、二段乾燥の実施や送風温度を下げるなど、特に丁寧な乾燥を行いましょ。
- (2) 青米の混入程度により停止水分を設定しましょう。

【乾燥機停止水分の目安】

100粒中の青米粒数	0～5粒	6～10粒	11粒以上
乾燥機停止後の水分変化	乾く(-0.5%)	変わらない	もどる(+0.5%)

- (3) 玄米水分は14.5～15.0%に仕上げましょう。玄米水分が17%以下になったら、手動水分計でこまめに測定し、過乾燥米の発生を防止しましょう。



**秋の農作業安全運動展開中 8月20日～10月20日**

ワラの詰まりはエンジンを止めて！補助者との合図や確認を心がける！